



# 2022年12月期 第3四半期 決算説明資料

---

2022年 11月 10日  
**富士ソフト** 株式会社



# 目次

---

## 2022年 12 月期 第 3 四半期 決算

P2. 連結業績ハイライト

P5. 主なグループ会社売上高・営業利益

P7. 連結セグメント別売上高・営業利益

P9. 連結損益計算書

P10. 連結貸借対照表

P11. 連結キャッシュ・フロー計算書

P12. 連結 S I 事業の受注高・受注残高

# 1.連結業績ハイライト① (3Q累計1-9月実績)

## 売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は、業務系ではシステムインフラ構築を中心に各分野が好調に推移し、組込系では機械制御系の好調が継続したことなどにより、システム構築分野が好調に推移した結果、前同比107.6%の209,660百万円となりました。

## 営業利益は増収により増益

◇営業利益は、一部グループ会社における販売代理店契約終了の影響があったものの、システム構築分野やBPOサービスなどの増収により、前同比104.7%の13,929百万円となりました。

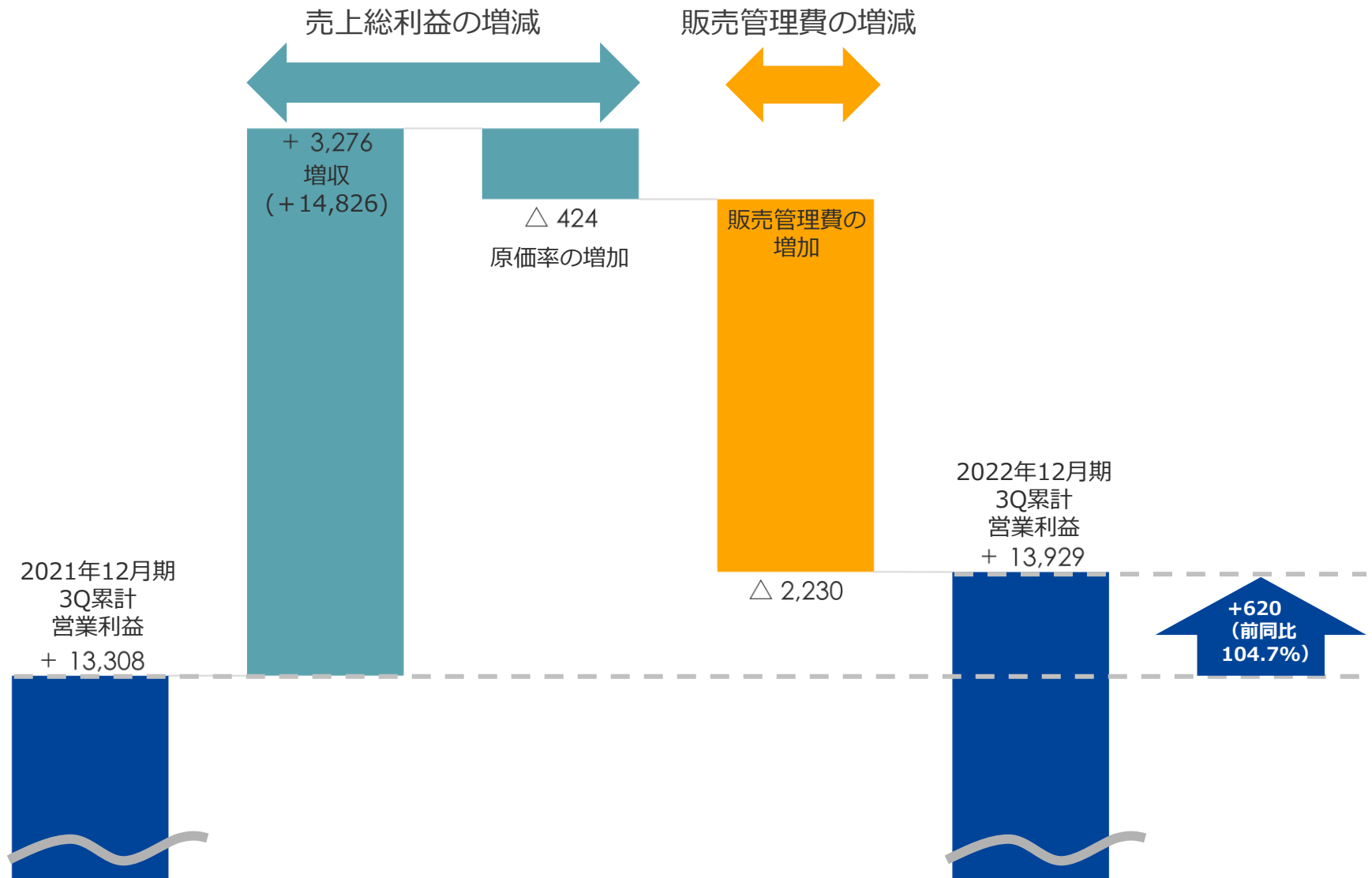
◇経常利益は、増収および為替差益の増加等により前同比106.4%の15,044百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年に株式売却による一時的な法人税等の増加があり、前同比121.8%の8,857百万円となりました。

(単位：百万円)

	2021年12月期 3Q累計実績	2022年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2022年12月期 3Q累計計画	計画比
売上高	194,833	209,660	+14,826	107.6%	197,900	105.9%
営業利益	13,308	13,929	+620	104.7%	12,400	112.3%
営業利益率	6.8%	6.6%			6.3%	
経常利益	14,142	15,044	+901	106.4%	13,500	111.4%
経常利益率	7.3%	7.2%			6.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,274	8,857	+1,582	121.8%	7,200	123.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.7%	4.2%			3.6%	

# 連結営業利益の状況（3Q累計）



# 1. 連結業績ハイライト② (3Q 区間7-9月実績)

売上高は前同比109.6%と増収

売上原価率は第2四半期累計に対して77.2%に減少(改善)

◇売上原価率は、収益性の高いシステム構築分野が拡大したことにより、第2四半期累計の78.5%から77.2%に減少(改善)しました。

販売費及び一般管理費は前年同期より1,077百万円増加

◇好調な受注環境への対応による人員増および、処遇改善による人件費・経費の増加により、前年同期より1,077百万円増加となりました。

◇営業利益は前同比107.8%の4,934百万円となりました。

(単位：百万円)

	2022年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比	2022年12月期 3Q区間実績	前同差	前同比
売上高	141,328	+8,819	106.7%	68,332	+6,006	109.6%
売上原価	110,969	+7,402	107.1%	52,779	+4,571	109.5%
売上原価率	78.5%			77.2%		
売上総利益	30,358	+1,416	104.9%	15,552	+1,435	110.2%
販売費及び一般管理費	21,363	+1,153	105.7%	10,618	+1,077	111.3%
営業利益	8,995	+263	103.0%	4,934	+357	107.8%
営業利益率	6.4%			7.2%		



## 2.主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2022年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	3Q累計実績	145,410	8,582	売上高は、業務系はシステムインフラ構築を中心に各分野が好調に推移したこと、組込系は機械制御系の好調が継続したことなどにより、増収となりました。営業利益は、業務系に一部不採算案件があったものの、業務系・組込/制御系の増収により増益となりました。
	前同差	+11,675	+1,549	
	前同比	108.7%	122.0%	
サイバネットシステム	3Q累計実績	14,406	1,195	2022年12月期から収益認識基準等を適用し、従来、主として契約開始時点で収益を認識していた代理店事業のソフトウェアのメンテナンスサービスについて、契約期間にわたり収益を認識する処理に変更したこと、2021年10月1日にSynopsys社との販売代理店契約を終了したことにより、減収、減益となりました。
	前同差	△ 3,141	△ 1,508	
	前同比	82.1%	44.2%	
ヴィンクス	3Q累計実績	24,156	2,515	売上高は、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+2,487	+581	
	前同比	111.5%	130.0%	
サイバーコム	3Q累計実績	12,394	983	売上高は、ソフトウェア開発事業における制御・業務系開発案件が好調に推移したことに加え、サービス事業ではSIサービスにおいて構築・評価検証案件等が好調に推移し増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+973	+131	
	前同比	108.5%	115.4%	
富士ソフト サービスビューロ	3Q累計実績	8,583	551	売上高は、地方自治体の新型コロナウイルス対策に関連する期間限定の外部委託需要を受けて好調に推移いたしました。また、第2四半期からの年金に関するコールセンター業務も寄与し、増収となりました。営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+1,890	+98	
	前同比	128.2%	121.7%	

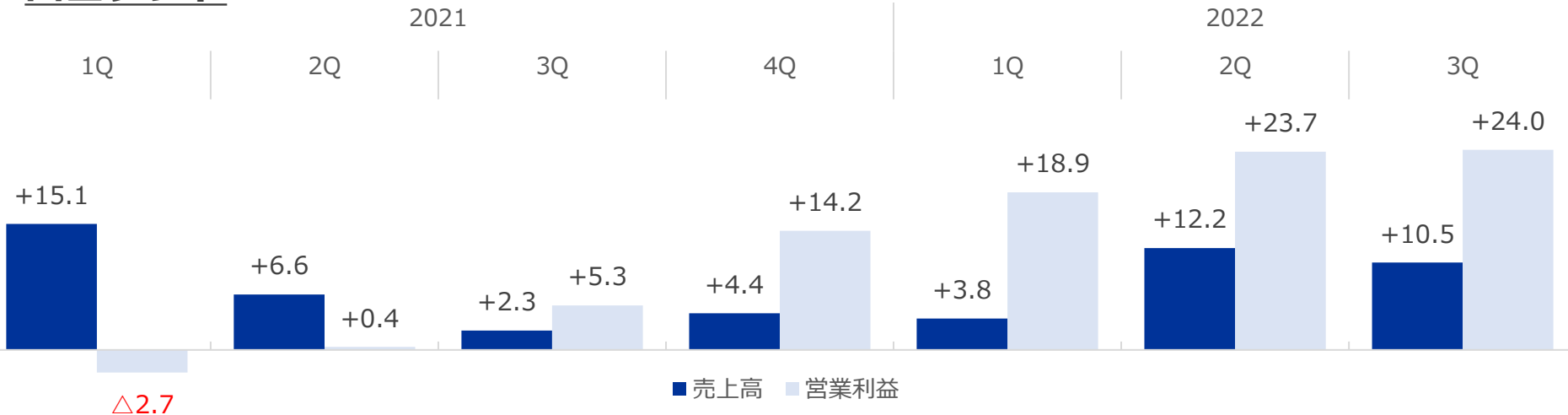
※「2022年12月期3Q累計実績」欄には、各社2022年1～9月の実績を記載しています。



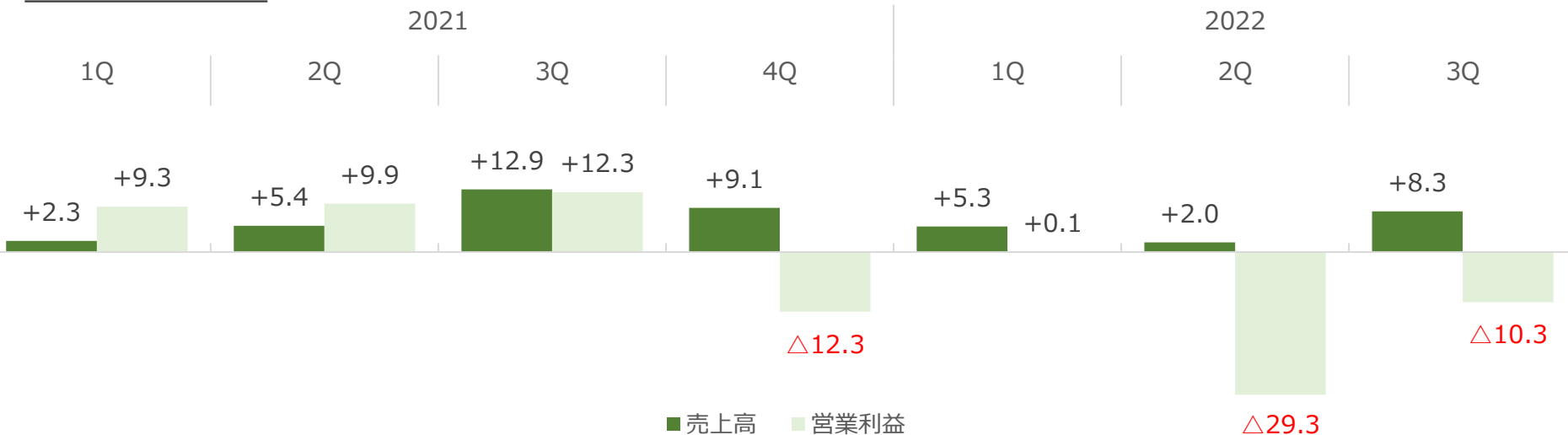
# 四半期別 単体・グループ会社売上高・営業利益の状況

## 富士ソフト

数値：前年同期増減率(%)



## グループ会社



### 3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2022年12月期売上高		前同差	前同比	2022年12月期営業利益		前同差	前同比
	3Q累計実績	構成比			3Q累計実績	営業利益率		
全社計	209,660	100.0%	+14,826	107.6%	13,929	6.6%	+620	104.7%
SI事業	198,158	94.5%	+12,768	106.9%	12,718	6.4%	+386	103.1%
システム構築	121,870	58.1%	+13,318	112.3%	8,296	6.8%	+1,164	116.3%
組込系／制御系ソフトウェア	55,215	26.3%	+4,625	109.1%	4,514	8.2%	+869	123.9%
業務系ソフトウェア	66,654	31.8%	+8,692	115.0%	3,781	5.7%	+294	108.5%
プロダクト・サービス	76,288	36.4%	△ 549	99.3%	4,422	5.8%	△ 778	85.0%
プロダクト・サービス	65,119	31.1%	△ 1,576	97.6%	3,612	5.5%	△ 854	80.9%
アウトソーシング	11,168	5.3%	+1,026	110.1%	810	7.3%	+75	110.3%
ファシリティ事業	1,975	0.9%	+15	100.8%	644	32.6%	△ 52	92.5%
その他事業	9,525	4.5%	+2,041	127.3%	566	5.9%	+286	202.3%

#### セグメント別売上高・営業利益のポイント

##### ●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、機械制御系の好調が継続し、自動車関連など各分野も堅調に推移したことにより、前同比109.1%となりました。

営業利益は、増収および不採算案件の抑制により前同比123.9%となりました。

##### ●業務系ソフトウェア

売上高は、システムインフラ構築を中心に各分野が好調に推移し、前同比115.0%となりました。

営業利益は、不採算案件の影響はあるものの、増収により前同比108.5%となりました。

##### ●プロダクト・サービス

売上高は、前年にGIGAスクール関連の大型PC販売案件があったこと、当期に一部グループ会社における販売代理店契約終了の影響があったことにより前同比97.6%となりました。

営業利益は、減収および売上構成の変動により前同比80.9%となりました。

##### ●アウトソーシング

売上高は、運用保守案件の増加により、前同比110.1%となりました。

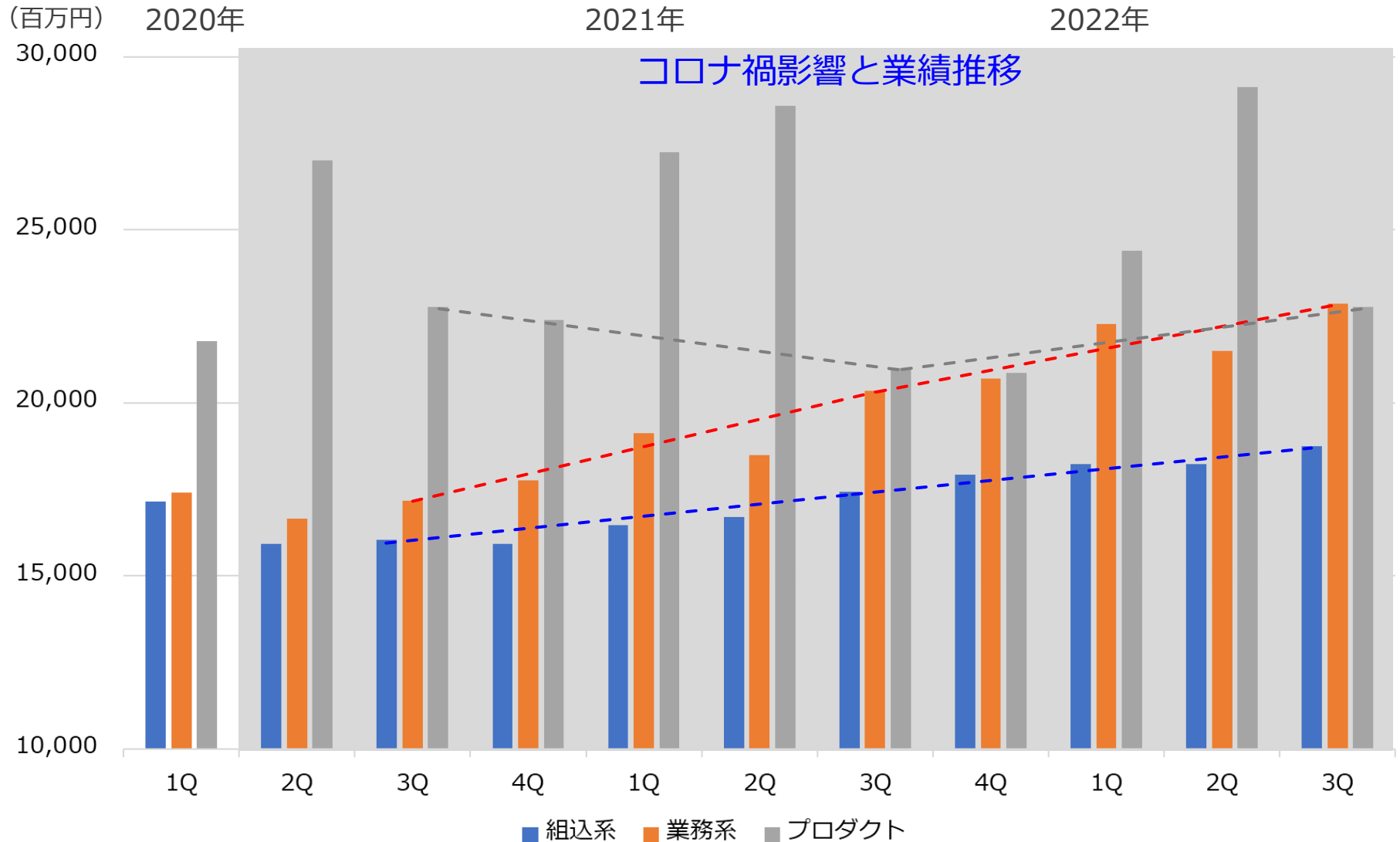
営業利益は、増収により前同比110.3%となりました。





# 四半期別業績推移（2020年～2022年3Q）

セグメント別四半期売上高（連結）



# 4.連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	前同差	前同比	2022年12月期	
	3Q累計実績	3Q累計実績			3Q累計計画	計画比
売上高	194,833	209,660	+14,826	107.6%	197,900	105.9%
売上原価	151,774	163,748	+11,974	107.9%	-	-
売上原価率	77.9%	78.1%	①			
売上総利益	43,059	45,911	+2,851	106.6%	-	-
売上総利益率	22.1%	21.9%				
販売費及び一般管理費	29,750	31,981	+2,230	② 107.5%	-	-
販管费率	15.3%	15.3%				
営業利益	13,308	13,929	+620	104.7%	12,400	112.3%
営業利益率	6.8%	6.6%			6.3%	
営業外収益	756	1337	+580	③ 176.8%	-	-
営業外費用	94	244	+149	257.8%	-	-
持分法による投資損益	172	22	△ 150	12.9%	-	-
経常利益	14,142	15,044	+901	106.4%	13,500	111.4%
経常利益率	7.3%	7.2%			6.8%	
特別利益	2,938	190	△ 2,747	④ 6.5%	-	-
特別損失	2,856	408	△ 2,447	④ 14.3%	-	-
税金等調整前四半期純利益	14,224	14,826	+601	104.2%	-	-
法人税等合計	4,965	4,457	△ 508	89.8%	-	-
四半期純利益	9,259	10,369	+1,109	112.0%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,985	1,512	△ 472	76.2%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,274	8,857	+1,582	121.8%	7,200	123.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.7%	4.2%			3.6%	

## 損益計算書のポイント

### ① 売上原価率 (78.1%)

一部グループ会社の不採算案件および収益認識基準の変更などにより増加

### ② 販売費及び一般管理費 (+2,230百万円)

好調な受注環境への対応による人員増および処遇改善による人件費・経費の増加

### ③ 営業外収益 (+580百万円)

為替差益による増加

### ④ 特別利益 (△2,747百万円)

### 特別損失 (△2,447百万円)

特別利益は、前年に政策保有株式売却に伴う投資有価証券売却益があったことによる減少

特別損失は、前年に関係会社株式売却損および有形固定資産減損損失があったことによる減少

# 5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年12月期 期末	2022年12月期 3Q期末	前期末差	2021年12月期 3Q期末(参考)
<b>流動資産</b>	111,128	107,715	△ 3,413	107,758
現金及び預金	40,351	31,539	△ 8,811 ①	39,549
受取手形及び売掛金	57,352	53,605	△ 3,746	54,137
有価証券	5,000	8,000	+ 3,000	5,000
たな卸資産	4,449	4,972	+ 522	5,043
その他	3,974	9,597	+ 5,622 ②	4,027
<b>固定資産</b>	117,786	126,735	+ 8,948	119,524
有形固定資産	90,344	98,248	+ 7,903 ③	90,549
無形固定資産	4,547	5,038	+ 491	4,671
投資その他の資産	22,894	23,448	+ 553	24,304
<b>資産合計</b>	228,915	234,450	+ 5,535	227,282
<b>流動負債</b>	68,018	68,373	+ 355	59,568
支払手形及び買掛金	12,947	13,787	+ 840	12,634
短期借入金	19,462	17,944	△ 1,517	14,544
未払費用・賞与引当金	11,971	14,056	+ 2,085	12,248
未払法人税等	5,247	2,606	△ 2,640	3,715
工事損失引当金	277	258	△ 18	144
その他	18,111	19,720	+ 1,608	16,280
<b>固定負債</b>	17,928	16,333	△ 1,595	26,203
長期借入金	9,366	8,885	△ 480	17,547
その他	8,562	7,447	△ 1,115	8,656
<b>負債合計</b>	85,946	84,707	△ 1,239	85,771
<b>純資産合計</b>	142,968	149,743	+ 6,774	141,510
<b>負債純資産合計</b>	228,915	234,450	+ 5,535	227,282

## 貸借対照表のポイント

### ① 現金及び預金 (△8,811百万円)

借入金の返済および法人税・消費税等の支払いによる減少

### ② その他流動資産 (+5,622百万円)

他社製品調達の前払費用、および収益認識基準移行に伴う前渡金(原価部分)の増加

### ③ 有形固定資産 (+7,903百万円)

予てから建設中の自社利用目的不動産に関する費用支払による増加

## 6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2021年12月期 3Q累計実績	2022年12月期 3Q累計実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,513	9,343	△ 1,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,302	△ 11,894	△ 18,197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,458	△ 5,647	+8,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	351	616	
現金及び現金同等物の増減額	2,710	△ 7,582	
現金及び現金同等物の期首残高	37,450	40,876	
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,160	33,294	

### キャッシュ・フローのポイント

#### ●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は増収・増益に伴う入金増加により、9,343百万円の収入となりました。

なお、当期に法人税等の支払が増加したこと、他社製品調達の前払いがあったことにより、前同差は1,170百万円の減少となりました。

#### ●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期はオフィススペース確保のための建設費用などにより、11,894百万円の支出となりました。

なお、前期に株式売却による入金などがあったことにより、前同差は18,197百万円の減少となりました。

#### ●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は5,647百万円の支出となりました。

なお、前期に運転資金の返済があったことにより、前同差は8,810百万円の増加となりました。



## 7.連結S I事業の受注高・受注残高

※当期より新収益認識基準を適用（前年値は旧基準）

（単位：百万円）

	2022年12月期		3Q累計実績		2022年12月期		3Q累計実績	
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
<b>SI事業 合計</b>	61,489	102.0%	205,338	110.5%	198,158	106.9%	68,669	113.2%※2
<b>システム構築</b>	38,273	107.0%	127,580	111.4%	121,870	112.3%	43,983	105.4%※3
組込系／制御系ソフトウェア	13,506	96.0%	56,622	109.2%	55,215	109.1%	14,913	97.4%※4
業務系ソフトウェア	24,766	114.2%	70,958	113.2%	66,654	115.0%	29,070	110.1%
<b>プロダクト・サービス</b>	23,216	94.8%	77,757	109.1%	76,288	99.3%	24,686	130.3%
プロダクト・サービス	※1 21,363	95.3%	66,682	109.3%	65,119	97.6%	22,926	136.9%
アウトソーシング	1,852	88.9%	11,075	108.0%	11,168	110.1%	1,759	80.0%

※1 新収益認識基準適用により、期首受注残高を変更しております。（+3,155百万円）

※2、※3 受注計上の社内運用ルールの見直しにより、一部案件の受注計上時期を変更いたしました。

従来の計上方法における、SI事業の期末受注残高は前同比115.3%、システム構築は前同比108.5%となります。

### 受注高・受注残高のポイント

#### ●システム構築分野のポイント

##### ・組込系/制御系ソフトウェア

受注は、機械制御系が増加したことなどにより、前同比109.2%となりました。

また、期末受注残高は前同比97.4%となりました。

※4 従来の計上方法における期末受注残高は前同比105.9%となります。

##### ・業務系ソフトウェア

受注は、製造業やシステムインフラ構築案件が増加したことにより、前同比113.2%となりました。

また、期末受注残高は前同比110.1%となりました。

#### ●プロダクト・サービス分野のポイント

##### ・プロダクト・サービス

受注は、他社ライセンスが増加したことなどにより、前同比109.3%となりました。

また、期末受注残高は前同比136.9%となりました。

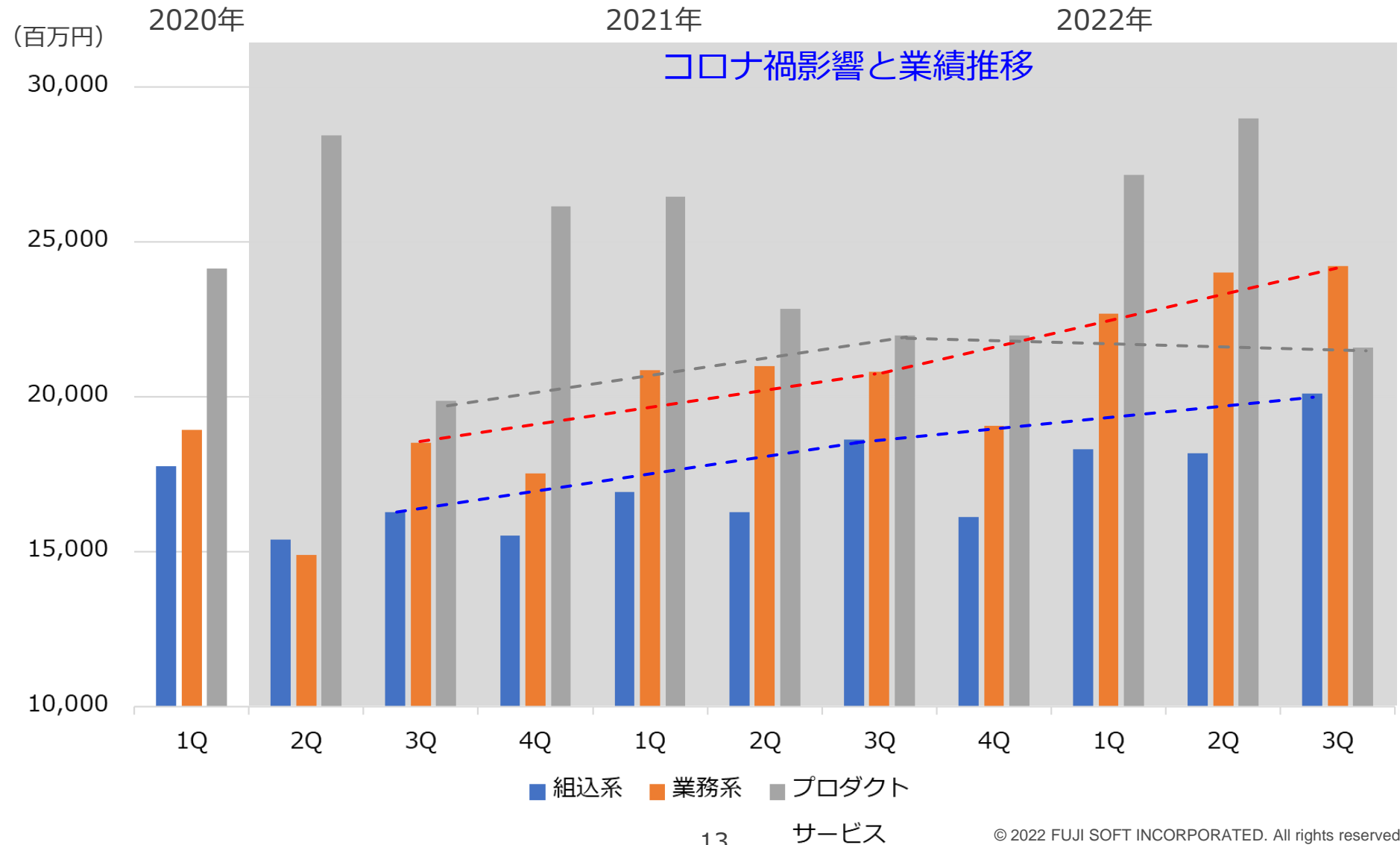
##### ・アウトソーシング

受注は、運用保守案件が増加したことにより、前同108.0%となりました。

また、期末受注残高は前同比80.0%となりました。

# 四半期別業績推移（2020年～2022年3Q）

セグメント別四半期受注高（連結）





※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。